

## マタイの福音書 第6章 26節（空の鳥を見る）

「空の鳥を見なさい。種蒔きもせず、刈り入れもせず、倉に納めることもしません。けれども、あなたがたの天の父がこれを養ってくださるのです。あなたがたは、鳥よりも、もっとすぐれたものではありませんか。」

空の鳥を見る暇もなかった者にうながす。尽きることのない、もっと、さらに、より、との声に掻き立てられて終わらない地平をひた走る者に語り掛けます。空の鳥を見なさい。見るゆとりを持ちなさい。目の前の事柄に怯えるように駆け巡る生活にポーズをとり、空を見上げなさい。駆け回ることなく、慌ただしく動くこともなく、貪欲にかき集めることのない、空に舞う鳥がいます。

空を見上げれば、鳥の背後に天の父が見えるでしょう。今日の糧を見つけなければ飛べなくなる鳥が空に舞っています。その命をつないでおられる天の父がいます。あなたに、この空を見上げるゆとりをもってほしいのです。天の父を見る静まりを持ってほしいのです。そうすればわかるのです。

あなたがたは、鳥よりも、もっとすぐれたものであることを。天の父の愛を知り、その愛で父を愛せることを。